

6.6kV 高圧T分岐接続部

小さい分岐枡でも布設可能な高圧分岐接続部です。



特長

- ソフト地中化などで採用される小さい分岐枡でも、省スペースで布設が可能です。
- 絶縁柱を活用することによって、直線接続や戻し接続としても運用できます。
- 布設後に、絶縁柱 → ケーブル増設や、ケーブル撤去 → 絶縁柱、といった組み替えが可能です。（工事の際には停電作業が必要です。）
- 高圧検電器での検電が可能です。

適用ケーブル・サイズ

ケーブル種類	導体サイズ (mm ²)
6.6kV CVT ケーブル	8
	60
	100
	150



ソフト地中化とは・・・

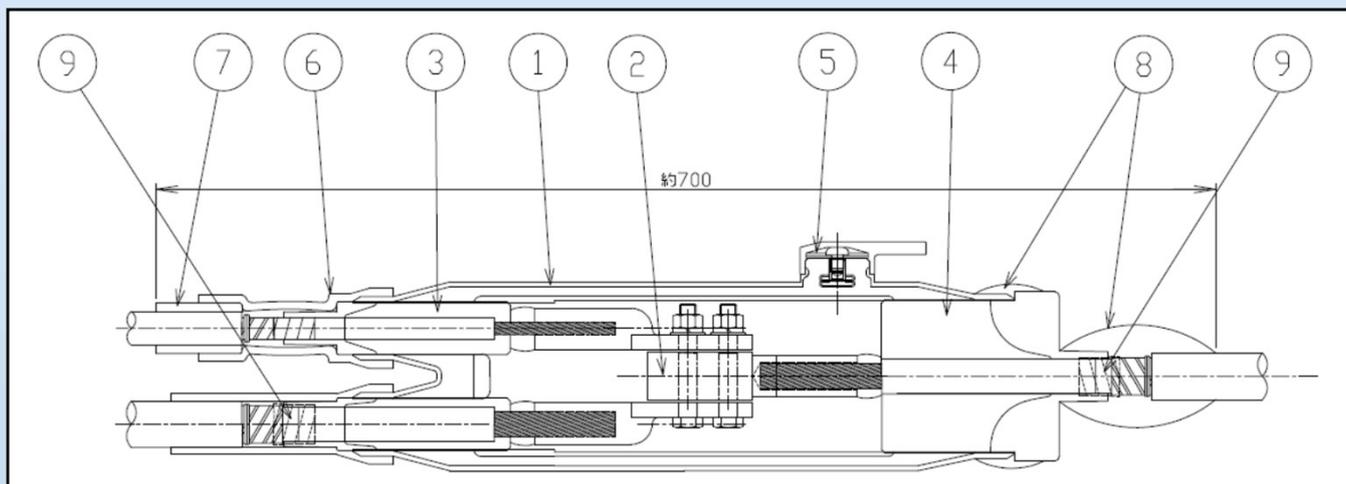
地上に機器を設置できない道路において、変圧器を柱上に配置する地中化方式であり、地中の枡内でケーブルを分岐接続する形態です。

性能

項目	性能
商用周波耐電圧	22 kV × 1 時間に耐えること
雷インパルス耐圧	±85 kV × 3 回に耐えること
商用周波部分放電電圧	10 kV で部分放電が発生しないか、5.5 kV 以上で消滅すること
長期課通電	AC8.5kV印加した状態で、定格電流でのヒートサイクル30日間に耐えること
気密性	外水圧 98 kPa × 1 時間

(JEC-3409準拠)

構造



①	絶縁筒
②	圧縮端子
③	スペーサ (二口側)
④	楕円スペーサ (一口側)
⑤	検電端子
⑥	防水保護チューブ
⑦	防水用スペーサ
⑧	防水テープ
⑨	ACPテープ



構成部材の例

